

感染症情報 10月30日～11月5日

府下小児科197医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	672例(堺市	88例)
②溶連菌感染症	664例(堺市	71例)
③咽頭結膜熱	653例(堺市	52例)
④手足口病	75例(堺市	5例)
⑤突発性発疹	43例(堺市	3例)

府下305医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 4,046例(堺市 422例)

報告数による順位である。前週比8.7%減の2,210件の報告であった。感染性胃腸炎が府下で前週比1%減、堺市で前週71例→今回88例であった。溶連菌感染症が府下で10%減、堺市は前週67例→今週71例であった。咽頭結膜熱が3位に後退し、府下で14%減、定点当たり3.86→3.31であったが、大阪府では10週連続で警報レベル3以上が続いている。堺市で前回55例→今回52例。定点当たり2.89→2.74であった。手足口病が府下で23%減、堺市で前回6例→今回5例であった。

インフルエンザが府下で前週比5%増、堺市で6%減であった。定点当たり大阪府は12.65→13.27になった。堺市は15.48→14.55であった。

府下305医療機関(堺市29)から

新型コロナウイルス感染症 471例(堺市 58例)
大阪府定点 1.54 堺市定点 2.00

大阪府の年齢層別の報告数											
0歳	1歳から4歳	5歳から9歳	10歳から19歳	20歳から29歳	30歳から39歳	40歳から49歳	50歳から59歳	60歳から69歳	70歳から79歳	80歳以上	合計
17	27	30	65	60	63	36	41	36	46	50	471

新型コロナウイルス感染症の定点報告は、大阪府で前週555例→今回471例は15%減、定点当たり1.82→1.54であった。堺市は前週46例→今回58例で26%増、定点当たり1.59→2.00であった。堺市が大阪府のブロック別でまたワースト2になった。

麻疹や風疹の報告はなかった。